

PICC 2024 年度活動報告書

(2024 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日まで)



一般社団法人

公益資本主義推進協議会

Public Interest Capitalism Council

目次

1. 会長（代表理事）ご挨拶	P.02
2. 公益資本主義について	P.04
3. PICC について	P.04
・ PICC のビジョン	
・ PICC 団体概要	
4. 事業の概況について	P.07
・ 設立から体制づくり	
・ 2024 年のテーマと活動	
・ 2024 年度の業績概況	
5. 2024 年度 決算報告	P.09
・ 2024 年度 貸借対照表	
・ 2024 年度 正味財産増減計算書	
・ 財務諸表に関する注記	
6. PICC の委員会活動 会員による「公益資本主義」の実践	P.14
・ 数字で見る PICC の実践活動	
・ 100 年企業研究委員会	
・ 途上国支援委員会	
・ 地域活性化委員会	
・ 教育支援委員会	
・ 会員交流委員会	
7. その他の取り組みについてのご紹介	P.22
・ PICC 「本質道場」	
・ PICC 全国大会	
・ マイコミュニティフォーラム	
・ U25 会員／準会員について	
8. 2025 年のテーマ	P.29
・ 2025 年 PICC テーマ	

1. 会長(代表理事)ご挨拶

日本経済は、新型コロナウイルス感染拡大、ウクライナ侵攻の余波など大きく影響を受ける局面がありましたし、直近では人件費や物価の上昇に直面しておりますが、リーマンショック以降、大勢としては安定した経済成長が続いてきました。しかし、「実感が乏しい」好景気と言われる通り、日本人・日本企業からかつてのような元気も自信も感じられない状態が続いてきました。なぜでしょうか？

その最大の要因は、経済を支える企業が「米国型資本主義」に強く影響を受けて経営されているからであると、私は考えています。日本中の会社が違和感を覚えながらも「何よりも優先すべきは目標数字を達成することだ」「より短期間でより多くの利益を株主に還元することが企業価値である」という偏った価値観を持ち、「自分さえ良ければ」「今さえ良ければ」という考え方で経営判断を下しているのです。その結果として、黒字リストラ、粉飾決算、商品データの改ざん、談合、ブラック企業等、さまざまなかたちで社会を騒がせる存在となっています。企業は本来の存在意義を忘れてしまったのです。

また、アメリカを追う中国では「国家資本主義」が力を付けています。しかし、これもやはり「儲けるためならなりふり構わず」というスタンスが強まっており、これから大きな経済成長が期待される近隣諸国への影響を考慮すると、非常に強い危機感を抱いています。

では、企業の本来の存在意義とはどのようなものでしょうか。企業とは本来、社会の困りごとを解決するために存在しています。お客様から選んでいただけるよう、企業はより良い商品・サービスを提供するために努力し、その結果として収益を得ることができるのです。その中から社員へは給与というかたちで、株主へは配当というかたちで利益の一部を分配します。あわせて、企業の事業活動は取引先や仕入れ先の収益にも寄与するものであり、また社員の雇用や納税を通じて地域社会や国の維持・発展にも貢献しているのです。

このように、企業は経済を支える「社会の公器」と言える存在です。すなわち、企業は「社員」のものであり、「顧客」のものであり、そして「株主」のものであり、「取引先」のものであり、「地域」のものなのです。日本では古来、こうした考えを根底に持ち商売が行われていました。

「三方よし」「和を以って貴しとなす」「吾唯足知」、古くから日本に根付くこのような企業の在り方にもう一度、しっかりと目を向けていくことが、今の時代だからこそ必要であると確信しています。

これから世界経済の中心となるべきは、米国型の株主資本主義でも中国型の国家資本主義でもありません。社会全体の利益を考える資本主義、日本型の「公益資本主義」です。

私はこうした考えを日本中に、そして世界中に拡げ、変えていくため「公益資本主義推進協議会（以下「PICC」と呼ぶ）」という組織をつくりました。

PICCでは、「限界が見えてきた現資本主義に成り変わる、新しい日本発の資本主義＝公益資本主義を世界に発信し、地球益に貢献する」をビジョンに掲げ、諸外国から真に尊敬される日本づくりの実現に向けて様々な活動に取り組んでいます。一つの活動は大きな影響力はないかもしれませんが、しかし、このPICCを、公益資本主義について学ぶ場、実践する場、そして発信する場として全国に広めていくことによって、必ずどこかで世の中を変えるためのきっかけをつくることができると信じ、活動を続けています。

この趣旨に賛同していただける皆様、ぜひ本協議会にご参加いただき、一緒に新しい資本主義の在り方を考えていきましょう。そしてこの「公益資本主義」を、広く世界に発信していきましょう。ご協力よろしくお願いいたします。

以上



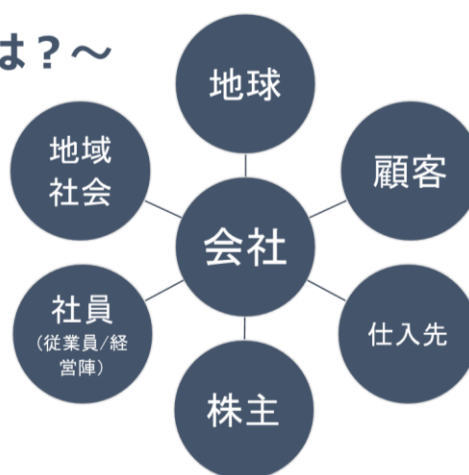
会長（代表理事） **大久保秀夫**

2. 公益資本主義について

PICCの最高顧問である原丈人氏は著書『「公益」資本主義 英米型資本主義の終焉』（文春新書）の中で、公益資本主義について「企業の事業を通じて、その企業に関係する経営者、従業員、仕入先、顧客、株主、地域社会、環境、そして地球全体に貢献する」ような企業や資本主義の在り方と定義しています。

**会社は誰のものか？
企業は社会の公器である。**

社中（Company）とは？～



「公益」と言うと利益を追求するのが悪いことのように思われるかもしれませんが、そうではありません。その逆です。企業を支えるすべての関係者に貢献するためには、大いに稼ぎ、持続的に発展していく必要があります。

3. PICCについて

一般社団法人公益資本主義推進協議会＝PICC（Public Interest Capitalism Council）とは、公益資本主義を全国に広め、世の中を変えるためのきっかけをつくる活動を推進する協議会です。

公益資本主義の考えに沿った正しい企業の在り方＝「王道経営」を学び、それを実際の事業活動の中で実践することで社業を伸ばし、その有用性について実証していくこと、そして、公益資本主義に賛同する企業経営者を数多く育成・輩出していくことをミッションとしています。

PICCのビジョン

限界が見えてきた現資本主義に成り変わる、
新しい日本発の資本主義＝公益資本主義を
世界に発信し、地球益に貢献する。

そのため、PICC 会員企業がいますべきことは、

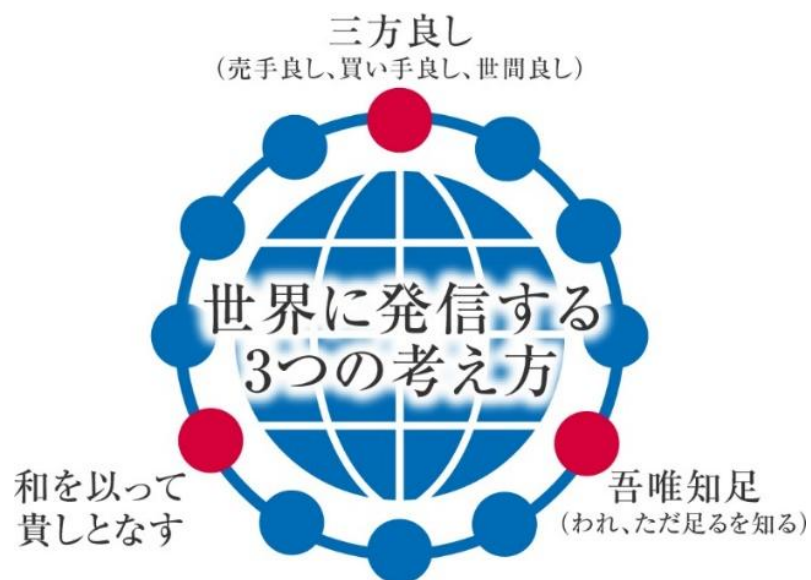
魂の決断で**社会性**をベースとした会社・事業を創出し、

独自性のあるビジネスモデルに昇華させる。

同時に、**経済性**も成り立つよう**改良改善**に挑戦する。

その結果生まれた利益は、社員とその家族、取引先、顧客、地域社会、
株主、つまり社中全体に**公平に分配**していくことで共存共栄を

果たし、**永年続く**企業となることを目指す。



PICC 団体概要

名称： 一般社団法人公益資本主義推進協議会
設立： 2014年（平成26年）1月27日
所在地： 東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号
目的等： 諸外国から真に尊敬される日本づくりの実現に向けての活動
会員数： 160名（2024年12月末、正会員120社、U25会員33名、
準会員6名、特別会員1名） ※失効や休会は除いています
支部等： 福島グループ／東京グループ／愛知グループ／広島グループ／福岡
グループ／西日本広域グループ
役員： 最高顧問 原 丈人
会長（代表理事） 大久保 秀夫
副会長（理事） 田中 勇一
理事 北見 俊則
理事 大塚 雅之
理事 飯田 剛也
監事 佐藤 栄作
相談役 川原 正孝
相談役 林 英臣
相談役 寺田 耕治

4. 事業の概況について

設立から体制づくり

PICC は、公益資本主義を実践し、浸透させることで諸外国から真に尊敬される日本づくりを目指して活動しています。2014 年の設立当初は、会長である大久保秀夫を中心に日本全国を回り、次世代を担う若手経営者に向けて、現在の資本主義の問題点、企業の本来の在り方、人としての在り方、PICC の目指すこと等について啓発活動を中心に取り組んでまいりました。この結果、全国で PICC のビジョンに賛同する企業に入会していただき、組織の基盤をつくることができました。

会員数が一定数を超えた地域には支部・設立準備委員会を設立し、各地域で具体的活動を展開できる組織づくりを行いました。2024 年からは、組織変更を行い地域グループ制に移行しています。福島・東京・愛知・広島・福岡・西日本広域グループが立ち上げられ、現在は学びの活動を中心に取り組んでいる状況です。

- ✓ 福島グループ
- ✓ 東京グループ
- ✓ 愛知グループ
- ✓ 広島グループ
- ✓ 福岡グループ
- ✓ 西日本広域グループ

また、「100 年企業研究委員会」「教育支援委員会」「途上国支援委員会」「地域活性化委員会」「会員交流委員会」の 5 つの委員会が立ち上げられ、公益資本主義を学び、それを実践するための具体的活動に取り組んでいます。しかし、地域ごとに人員数や活動テーマが異なるため、その進捗にはばらつきがある状況です。

2024年のテーマと活動

2024 年度は「本質を追求し、ぶれない強い経営者となる」を最上位目的に掲げ、①強い経営者となる意識があり、実際に動ける会員による団結、②本質を学び、考えるための場・仕組みをつくる、③そのために最適な組織・会員制度・情報伝達手段への移行という 3 点を中心に取り組んでまいりました。

そのため、4 月から大久保会長が講師を務める新しい学びの場として「本質道場」を隔月で開催しています。「本質道場」では毎回、課題について地域グループでのディスカッション重ねた上でレポート提出を求められる等、時間も労力も費やす必要がありますが、他にはない価値ある学びの場として、道場生 29 名が真剣勝負で臨んでいます。これまでの勉強会のように一方的に教わるのではなく、自分や会社の How to be = 「在り方」について考え、自分の中から、自分自身の答えを見出していくこ

とを目指しています。今後は道場生の中から師範を輩出し、大久保会長に代わってこの教えを PICC 内外に広げていくことを目指してまいります。

一方、「本質道場」を中心とした新しい活動について、まずは PICC 内で広げていくための取り組みをするべく、組織をこれまでの支部・準備委員会制から地域グループ制へと変更しました。所属や地域に関係なく、会員であれば同じように情報が入手でき、同じように活動に参加してもらえよう、会員資格も統一しています。

この体制変更に伴い、半数以上の会員は会費が値上げとなること、また継続確認を行う際にしっかり活動に参加することを条件として示したことから、アクティブではない会員を中心に 50 社が退会しました。一方、体制変更のため新規会員募集を積極的に行わなかったため新規入会は 4 社にとどまり、有効な正会員数は年初の 181 社から 120 社（失効や休会を含めると 155 社）へと大幅に減少しました。今後は「本質道場」を学ぶだけのフェーズから、実践し、広げるフェーズへと移行することで、新規会員の獲得にも取り組んでまいります。

また、25 歳未満の若者を対象とした U25 会員は新規で 3 名増えたものの、16 名が 25 歳を迎えて卒業したため、トータルで 33 名になっています。なお、卒業者のうち 2 名は前期から設けた準会員へと移行し、トータルで 6 名となりました。

2024年度の業績概況

このような活動を行った結果、今年度の業績は次の通りとなりました。

経常収益は前期に比べ 231 万円減少し 1,418 万円となりました。主な収益は、正会員を対象としている月会費（1 万円／月）であり、会員数が減少したことが収益減少の主な要因となります。

経常費用については、前期に比べ事業費を中心として 136 万円減少し、経常増減額は 127 万円の利益となりました（前期は 222 万円の利益）。会費の一部は、各地域グループが自主的かつ組織的に、本会主旨の活動を展開していくための活動費として活用されています。また本部においても、会員や会計を管理するためのシステム整備・運用、PR やイベント開催等の財源としています。本年度はあまり費用のかからない「本質道場」中心の活動だったため、特に地域グループ（支部）の経費支出が抑えられました。

5. 2024年度 決算報告

貸借対照表

2024年12月31日現在

単位：円（税込）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	31,632,047	30,233,725	1,398,322
小口(福岡支部)	13,968	101,081	-87,113
小口(福島)	54,679	40,779	13,900
普通預金(本部)	24,631,065	23,295,887	1,335,178
剰預金(本部)	49,012	49,004	8
普通(東京支部)	1,891,172	1,506,797	384,375
普通(愛知支部)	1,911,697	1,658,298	253,399
普通(福岡支部)	2,570,448	3,093,205	-522,757
マコ普通(愛知)	47,950	47,950	0
普通(福島)	462,053	440,724	21,329
未収会費	0	754,667	-754,667
前払金	33,000	33,000	0
貯蔵品	18,000	988,000	-970,000
前払費用	218,560	218,560	0
仮払金	0	15,180	-15,180
流動資産合計	31,901,607	32,243,132	-341,525
2. 固定資産			
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	346,297	0	346,297
その他固定資産合計	346,297	0	346,297
固定資産合計	346,297	0	346,297
資産合計	32,247,904	32,243,132	4,772
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	154,604	1,350,217	-1,195,613
預り金	18,378	23,483	-5,105
流動負債合計	172,982	1,373,700	-1,200,718
負債合計	172,982	1,373,700	-1,200,718
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	32,074,922	30,869,432	1,205,490
正味財産合計	32,074,922	30,869,432	1,205,490
負債及び正味財産合計	32,247,904	32,243,132	4,772

正味財産増減計算書

2024年 1月 1日から2024年12月31日まで

(単位：円)

科 目	本部		支部		合計	
	当年度	前年比	当年度	前年比	当年度	前年比
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取入会金	49,000	△ 114,000	0	0	49,000	△ 114,000
正会員入会金	40,000	△ 90,000	0	0	40,000	△ 90,000
U25入会金	9,000	△ 24,000	0	0	9,000	△ 24,000
受取会費	11,640,000	△ 1,639,000	0	0	11,640,000	△ 1,639,000
正会員年会費	0	△ 2,907,500	0	0	0	△ 2,907,500
正会員月会費	11,560,000	1,237,500	0	0	11,560,000	1,237,500
準会員年会費	80,000	31,000	0	0	80,000	31,000
内部振替支部活動費収入	△ 2,851,200	958,369	2,851,200	△ 958,369	0	0
内部振替支部活動費収入	△ 2,851,200	958,369	2,851,200	△ 958,369	0	0
事業収益	989,000	242,700	1,236,811	△ 856,944	2,225,811	△ 614,244
講演会等研修収益	0	0	280,500	△ 244,103	280,500	△ 244,103
イベント収益	989,000	242,700	956,311	△ 612,841	1,945,311	△ 370,141
雑収益	267,716	135,486	596	△ 78,458	268,312	57,028
受取利息	1,716	1,540	596	542	2,312	2,082
雑収益	266,000	133,946	0	△ 79,000	266,000	54,946
経常収益計	10,094,516	△ 416,445	4,088,607	△ 1,893,771	14,183,123	△ 2,310,216
(2) 経常費用						
事業費	4,138,773	92,159	3,741,195	△ 2,132,998	7,879,968	△ 2,040,839
諸謝金	663,600	300,189	0	△ 270,080	663,600	30,109
旅費交通費	474,359	△ 504,944	180,000	95,625	654,359	△ 409,319
什器備品費	0	0	218,230	218,230	218,230	218,230
消耗品費	128,934	△ 7,477	41,434	34,769	170,368	27,292
通信運搬具	161,125	109,935	38,455	5,405	199,580	115,340
システム管理費	662,976	552	0	△ 30,000	662,976	△ 29,448
渉外費	0	0	24,800	△ 21,147	24,800	△ 21,147
会議費	171,807	△ 168,083	132,000	△ 253,579	303,807	△ 421,662
広報費	0	△ 525,033	449,280	△ 980,020	449,280	△ 1,505,053
会場費	1,455,210	1,455,210	1,110,059	△ 316,259	2,565,269	1,138,951
開催費	0	△ 590,666	1,020,961	△ 116,336	1,020,961	△ 707,002
支払手数料	420,762	22,476	7,186	△ 7,040	427,948	15,436
支払保険料	0	0	20,850	△ 30,930	20,850	△ 30,930
業務委託費	0	0	480,000	△ 360,000	480,000	△ 360,000
支払寄附金	0	0	14,464	△ 31,536	14,464	△ 31,536
租税公課	0	0	0	△ 2,300	0	△ 2,300
雑費	0	0	3,476	△ 67,800	3,476	△ 67,800
管理費	5,027,665	677,759	0	0	5,027,665	677,759
支払報酬	55,000	33,000	0	0	55,000	33,000
諸謝金	40,000	0	0	0	40,000	0
旅費交通費	192,563	111,703	0	0	192,563	111,703
車両費	0	0	0	0	0	0
減価償却費	31,481	31,481	0	0	31,481	31,481
什器備品費	0	0	0	0	0	0
消耗品費	81,491	66,284	0	0	81,491	66,284
賃借料	57,750	57,750	0	0	57,750	57,750
通信運搬具	0	△ 520	0	0	0	△ 520
システム管理費	921,360	△ 5,180	0	0	921,360	△ 5,180
渉外費	100,000	△ 103,345	0	0	100,000	△ 103,345
会議費	247,970	209,146	0	0	247,970	209,146
広報費	2,168,000	291,019	0	0	2,168,000	291,019
会場費	675,300	△ 21,112	0	0	675,300	△ 21,112
支払手数料	15,730	3,443	0	0	15,730	3,443
租税公課	45,020	14,420	0	0	45,020	14,420
顧問料	396,000	0	0	0	396,000	0
雑費	0	△ 10,330	0	0	0	△ 10,330
経常費用計	9,166,438	769,918	3,741,195	△ 2,132,998	12,907,633	△ 1,363,080
評価損益等調整前当期経常増減額	928,078	△ 1,186,363	347,412	239,227	1,275,490	△ 947,136
当期経常増減額	928,078	△ 1,186,363	347,412	239,227	1,275,490	△ 947,136
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
国庫補助金等受増益	722,222	722,222	0	0	722,222	722,222
経常外収益計	722,222	722,222	0	0	722,222	722,222
(2) 経常外費用						
固定資産圧縮損	722,222	722,222	0	0	722,222	722,222
経常外費用計	722,222	722,222	0	0	722,222	722,222
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	928,078	△ 1,186,363	347,412	239,227	1,275,490	△ 947,136
法人税	70,000	0	0	0	70,000	0
当期一般正味財産増減額	858,078	△ 1,186,363	347,412	239,227	1,205,490	△ 947,136
一般正味財産期首残高	20,717,825	2,044,441	10,151,607	108,185	30,869,432	2,152,626
一般正味財産期末残高	21,575,903	858,078	10,499,019	347,412	32,074,922	1,205,490
II 指定正味財産増減の部						
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	21,575,903	858,078	10,499,019	347,412	32,074,922	1,205,490

財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針

公益法人会計を採用しております。

- (1) 棚卸資産の評価基準および評価方法
棚卸資産はございません。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
無形固定資産は定額法によっております。
- (3) 引当金の計上基準
引当金はございません。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式によっております。

2. 特定資産の増減額およびその残額、財源等の内訳

特定資産はございません。

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	377,778	31,481	346,297

無形固定資産（ソフトウェア）の取得価額から控除している圧縮記帳額は 722,222 円です。

4. 実施事業等会計にかかわる資産

実施事業等会計にかかわる資産はございません。

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対 照表の 記載区 分
国庫補助 金令和5 年度補正 サービス 等生産性 向上 IT 導入支援 事業費補 助金	サービス 等生産性 向上 IT 導入支援 事業事務 局	—	722,222	722,222	0	—

6. 重要な後発事象

該当する事象はございません。

付属明細書

1. 特定資産の明細
財務諸表の注記に関する記載のとおりです。
2. 引当金の明細
財務諸表の注記に関する記載のとおりです。

6. PICCの委員会活動 会員による「公益資本主義」の実践

PICC 各地域グループでは、「100年企業研究委員会」「教育支援委員会」「途上国支援委員会」「地域活性化委員会」「会員交流委員会」の5つの委員会が立ち上げられ、さまざまな活動に取り組んでいます。

数字で見るPICCの実践活動

PICC では全国の地域グループ・会員企業が、さまざまな活動に取り組んでいます。一つひとつの活動は小さいかもしれませんが、積み重ねることで将来的に世の中を変えるための一助につながっていくと信じております。2024年度、全国の地域グループやPICC全体で取り組んだ活動を集計し、数字でご紹介いたします。

100年企業研究

- ・企業訪問 1社
- ・コラム掲載 8回



出前授業

- ・開催校 23校
- ・人数 2,082名



MYCO フォーラム

- ・2都市 2回
- ・参加人数 730名



途上国支援

- ・ツアー 2回
- ・懇親会 1回



地域活性

- ・勉強会 4回
- ・イベント準備等



地域グループ活動

- ・定例会 6地域 63回
- ・勉強会 6地域 98回
- ・若者支援 3地域 21回

全国会議・勉強会

- ・責任者会議 10回
- ・本質道場/勉強会 51回



メディア掲載

- ・11媒体 86回



100年企業研究委員会

世界で最も多くの100年企業が存在する日本。これらの企業から経営の本質を学び、自らの経営に取り込むとともに、日本の経営の在り方を広く推奨していく委員会です。100年企業の視察や、メディアへのコラム提供などを行っています。

- 書物や講義を活用した研究
- 実際の100年企業への訪問
- 会員企業の100年ビジョンづくり



主な活動実績

実施日	地域	概要
2024/1/30	東京	日経産業新聞 「長寿企業の研究」ソミックグループ
2024/2/27	東京	日経産業新聞 「長寿企業の研究」高儀
2024/3/26	東京	日経産業新聞 「長寿企業の研究」保志
2024/4/4	東京	100年企業訪問 株式会社松井美芸堂
2024/8/30	東京	日経MJ「老舗リブランディング」羽車
2024/9/27	東京	日経MJ「老舗リブランディング」KITOWA
2024/10/30	東京	日経MJ「老舗リブランディング」イワタ
2024/11/29	東京	日経MJ「老舗リブランディング」日本コパック
2024/12/27	東京	日経MJ「老舗リブランディング」日本自動ドア

途上国支援委員会

国の基本は教育です。経済や文化の領域で将来のパートナーとなる途上国に対して、教育や自立支援をサポートしています。教師団の派遣や幼小中高一貫校設立などに取り組むCIESFと連携し、途上国支援の在り方を学び、実践します。

- 途上国支援
- 途上国進出の検討／実施
- 留学生受け入れ
- 他の途上国支援団体の研究／協力
- CRM手法の研究／実践



主な活動実績

実施日	地域	概要
2024/2/7	福岡	懇親会「海外ビジネスの展開について」
2024/2/22	福岡	福岡支部海外研修（バンコク）
2024/9/12	東京	カンボジアツアー（CLA 訪問、プレんティ活動動向）

地域活性化委員会

日本創生の原点となる地域振興。さまざまな分野から地域の活性化を研究・実践する委員会です。地域活性に取り組む他団体との連携も含め、公益資本主義の考えを活かしながら各地域にマッチした地域活性化に挑戦しています。

- 地域課題や他地域における活性化事例の研究
- 地域活性に取り組む団体との連携
- 地域活性学会との連携
- 地域の学生／企業／自治体／学校等との連携
- 地域活性化のための企画／実行



主な活動実績

実施日	地域	概要
2024/1/26	福島	みんなの定例会「政治と経済について」 （講師：株式会社ばるる 代表取締役 佐藤康則 氏）
2024/2/22	福島	みんなの定例会「インテリジェンスと国際政治の現実」 （講師：株式会社ばるる 代表取締役 佐藤康則 氏）・懇親会
2024/3/4	広島	定例会・勉強会「山口県デジテックオープンイノベーションの取組みについて」
2024/3/22	福島	みんなの定例会「素直な心になるために」
2024/7/26	福島	地域活性化委員会 「ぼくらの音楽祭」懇親 BBQ
2024/10/13	福島	ぼくらの音楽祭
2024/11/17	愛知	東海学生 AWARD
2024/12/15	愛知	東海学生アフターAWARD
2024/12/22	愛知	東海学生 AWARD 納会

※ 上記の他、地域グループによってイベントの企画・運営について取り組んでいます。

教育支援委員会

子供は未来の財産です。学力の低下に加え、夢や希望が持てない日本の子ども達に経営者からの視点で教育を推進する委員会です。教育と子育ては地域ぐるみで行うことと考え、「出前授業」などの活動を積極的に展開しています。「働くとはどういうことか?」「社会における企業の役割」「志や目標を持つことの大切さ」等をテーマに、企業経営者が自身の経験や想いを直接伝えることで、これから社会に出てゆく子供たちに働くことの意味や将来の夢を考えるきっかけを作ることが狙いです。2024年は延べ23校、2,082名の学生に向け、出前授業を行っています。



- 出前授業の実施
- 職場体験の受け入れ
- マイコミュニティフォーラムで知り合った学生への教育
- 新たな教育支援手法（オンライン出前授業 等）の研究

主な活動実績

実施日	地域	概要
2024/1/30	東京	出前授業 市川市立福栄中学校 1年生
2024/1/31	東京	出前授業 川崎市立高津高等学校（定時制）1年生
2024/2/5	東京	出前授業 三幸学園・飛鳥未来高等学校 横浜関内キャンパス（1～3年合同）
2024/2/21	東京	出前授業 学校法人新名学園 旭丘高等学校 1年生
2024/2/24	東京	出前授業 学校法人中村学園 中村中学校 2年生
2024/3/21	東京	出前授業 武蔵村山市立第四中学校 1年生
2024/6/3	東京	出前授業 東京都立第五商業高等学校 3年生
2024/6/24	東京	出前授業 千葉敬愛高等学校
2024/7/17	愛知	出前授業 愛知県立愛知総合工科高等学校
2024/8/2	愛知	出前授業 愛知県立一宮起工科高等学校
2024/9/7	東京	出前授業 都内小学校 6年生
2024/9/13	福島	出前授業 国際ビジネス公務員第学校（JO-BI）
2024/9/27	東京	出前授業 南足柄市立岩原小学校 6年生
2024/10/2	東京	出前授業 私立羽黒高等学校 2年生キャリアデザインコース
2024/10/3	東京	出前授業 松田町立松田中学校 2年生
2024/10/10	東京	出前授業 神奈川工科大学 2年生
2024/10/11	東京	出前授業 第一学院高等学校宇都宮キャンパス 1～3年生
2024/10/28	広島	出前授業 山口県立防府商工高等学校ビジネスマネージメント専攻 3年生

2024/10/29	東京	出前授業	松戸市立松戸高等学校 3 年生
2024/10/31	東京	出前授業	南足柄市立足柄台中学校 2 年生
2024/11/13	東京	出前授業	太田市立藪塚本町中学校 2 年生
2024/11/15	東京	出前授業	秦野市立南中学校 1 年生
2024/12/19	西広域	出前授業	宇検村立名柄中学校 1・2 年生

会員交流委員会

会員活動の基盤となる公益資本主義。その考え方を学び、経営者や企業の正しい在り方を身につける「在り方」勉強会の普及を図る委員会です。また、各支部定例会を通じて会員相互の交流（親睦・ビジネス）を促すとともに、全国各地の支部との交流会も開催しています。

- ・公益資本主義の学び
- ・「在り方」「やり方」勉強会
- ・魅力ある定例会の企画／運営
- ・新規会員の勧誘／教育
- ・会員企業の魅力発掘／発信
- ・会員交流



主な活動実績

実施日	地域	概要
2024/1/16	本部	PICC 支部長会議
2024/1/16	東京	定例会・事例発表動画撮影会
2024/1/22	福岡	定例会
2024/1/26	福島	みんなの定例会
2024/1/31	広島	定例会
2024/2/3	福岡	懇親会
2024/2/6	愛知	定例会・新年会
2024/2/7	福岡	懇親会「海外ビジネスの展開について」
2024/2/19	福岡	定例会
2024/2/20	本部	PICC 支部長会議
2024/2/20	本部	PICC 全国定例会「本質道場について」
2024/2/20	東京	定例会・勉強会 「新サービス『AICA』について ～AI リテラシーをすべての従業員に～」 (講師：株式会社 In Marketing Lab 代表取締役 杉山隆栄 氏)
2024/2/22	福島	みんなの定例会

2024/2/25	福島	懇親会「求人に関する情報交換」
2024/2/26	福岡	懇親会
2024/3/4	広島	定例会・懇親ゴルフコンペ
2024/3/7	愛知	定例会
2024/3/12	本部	PICC 社員総会・優秀事例発表会
2024/3/15	東京	「肝高の阿麻和利」観劇ツアー
2024/3/22	福島	みんなの定例会・懇親会
2024/3/23	東京	支部運営ミーティング・懇親会
2024/3/25	福岡	役員会・定例会・本質勉強会「経営者とは」
2024/3/26	東京	定例会・本質勉強会「経営者とは」
2024/3/28	東京	支部運営ミーティング・懇親会
2024/4/1	東京	本質勉強会「経営者とは」
2024/4/10	広島	定例会
2024/4/16	本部	PICC 支部長会議
2024/4/16	本部	PICC 本質道場（第1回）「経営の心」
2024/4/16	東京	定例会「サステナブル・ラボ事業紹介」 （講師：サステナブル・ラボ株式会社 COO 高橋浩太郎 氏）
2024/4/22	福岡	役員会・定例会・本質勉強会「経営者とは」
2024/4/22	西広域	本質勉強会「経営者とは」
2024/4/23	愛知	定例会・優秀事例後反省会
2024/4/26	福島	みんなの定例会「管理会計について」 （講師：株式会社せいふうケア 代表取締役 太田大 氏）
2024/5/13	西広域	本質勉強会「心をベースとした強い経営とは」
2024/5/14	東京	本質勉強会「経営者とは」振り返り
2024/5/15	東京	本質勉強会「経営者とは」振り返り
2024/5/16	愛知	本質勉強会「心をベースとした強い経営とは」
2024/5/19	西広域	本質勉強会「心をベースとした強い経営とは」
2024/5/21	本部	PICC 執行責任者会議
2024/5/22	愛知	本質勉強会「心をベースとした強い経営とは」
2024/5/23	愛知	定例会・本質勉強会「心をベースとした強い経営とは」
2024/5/24	福島	みんなの定例会・本質勉強会「心をベースとした強い経営とは」
2024/5/24	広島	PICC 福岡広島合同チャリティーゴルフ大会
2024/5/25	広島	PICC 福岡広島合同定例会・瑠璃光寺五重塔（香山公園周辺）観光
2024/6/5	本部	PICC 本質道場（第2回）「心を高める」（前編）
2024/6/5	西広域	定例会
2024/6/12	福島	地域活性化委員会
2024/6/18	本部	PICC 執行責任者会議
2024/6/24	広島	定例会・本質勉強会「心を高める」（前編）振り返り
2024/6/24	福岡	役員会・定例会・本質勉強会「心を高める」（前編）振り返り

2024/6/24	西広域	本質勉強会「心を高める」(前編) 振り返り
2024/6/25	東京	定例会・本質勉強会「心を高める」(前編) 振り返り
2024/6/26	福島	定例会・本質勉強会「社員に対する真の愛情とは」
2024/6/27	本部	PICC 新体制説明会
2024/6/27	愛知	定例会・本質勉強会「心を高める」(前編) 振り返り
2024/7/2	本部	PICC 新体制説明会
2024/7/13	福岡	本質勉強会「社員に対する真の愛情とは」
2024/7/13	西広域	本質勉強会「社員に対する真の愛情とは」
2024/7/16	東京	定例会・会員事業紹介
2024/7/22	福岡	役員会・定例会・本質勉強会「心を高める」(前編) 振り返り
2024/7/22	西広域	本質勉強会「心を高める」(前編) 振り返り
2024/7/23	広島	定例会・会員企業事例報告
2024/7/24	愛知	本質勉強会「社員に対する真の愛情とは」
2024/7/25	愛知	定例会・本質勉強会「社員に対する真の愛情とは」
2024/7/26	福島	地域活性化委員会 「ぼくらの音楽祭」懇親 BBQ
2024/7/26	福島	定例会・納涼会
2024/8/6	西広域	定例会
2024/8/20	本部	PICC 執行責任者会議
2024/8/20	本部	PICC 本質道場(第3回)「心を高める」(後編)
2024/8/20	東京	全国交流会
2024/8/22	愛知	定例会・プラザー工業ミュージアム見学
2024/8/23	福島	定例会・本質勉強会「なぜ経営者が心を高めなければならないのか」
2024/8/24	全国	PICC&政治団体はるか合同講演会
2024/8/26	福岡	役員会・定例会・本質勉強会「心を高める」(後編) 振り返り
2024/8/31	福岡	U25 同窓会
2024/9/4	西広域	定例会
2024/9/9	東京	本質勉強会「心を高める」(後編) 振り返り
2024/9/14	福岡	本質勉強会「心を高める」(後編) 振り返り
2024/9/14	西広域	本質勉強会「心を高める」(後編) 振り返り
2024/9/17	本部	PICC 執行責任者会議
2024/9/17	東京	定例会・本質勉強会「心を高める」(後編) 振り返り
2024/9/20	東京	本質勉強会「心を高める」(後編) 振り返り
2024/9/22	愛知	東海学生 AWARD 合宿
2024/9/24	福岡	定例会・本質道場事前勉強会「なぜ経営者が心を高めなければならないのか」
2024/9/24	西日本	定例会・本質道場事前勉強会「なぜ経営者が心を高めなければならないのか」
2024/9/26	愛知	定例会・チョコリコ視察
2024/9/27	福島	みんなの定例会「経営戦略の立て方の基礎」 (講師：株式会社せいふうケア 代表取締役 太田大 氏)
2024/10/8	広島	定例会・会員企業事例報告・本質勉強会

2024/10/8	広島	PICC 広島会員交流チャリティーゴルフ大会
2024/10/15	本部	PICC 本質道場（第4回）「経営を伸ばす」（前編）
2024/10/16	本部	PICC 執行責任者会議
2024/10/16	福岡	2024年度 PICC 全国大会 in 福岡
2024/10/16	西広域	定例会
2024/10/17	福岡	PICC 全国会員交流チャリティーゴルフコンペ
2024/10/22	東京	定例会・本質勉強会「経営を伸ばす」（前編）振り返り
2024/10/24	愛知	定例会・由良汽船視察・ 本質勉強会「なぜ経営者は心を高めなければならないのか？」振り返り
2024/10/25	福島	みんなの定例会「なぜ働かなければいけないのか、その本質について考える」 （ファシリテーター：株式会社せいふうケア 代表取締役 太田大 氏）
2024/10/28	福岡	本質道場事前勉強会「最善・最高・最強の組織はどのようにすればできるか？」
2024/10/28	西日本	本質道場事前勉強会「最善・最高・最強の組織はどのようにすればできるか？」
2024/11/11	東京	本質勉強会「最善・最高・最強の組織はどのようにすればできるか？」
2024/11/13	本部	キャタピラー・ジャパン SSS 会講演会 定例研究会 『『公益資本主義』PICC のご紹介』（飯田 剛也 理事）
2024/11/19	本部	PICC 執行責任者会議
2024/11/19	東京	定例会・プロジェクト OSUSO との交流会
2024/11/26	広島	定例会・本質勉強会
2024/11/27	西広域	定例会
2024/11/29	福島	定例会・本質勉強会「最善・最高・最強の組織はどのようにすればできるか？」
2024/12/10	愛知	定例会・忘年会
2024/12/14	福岡	役員会・忘年会
2024/12/17	本部	PICC 執行責任者会議
2024/12/17	本部	PICC 本質道場（第5回）「経営を伸ばす」（後編）
2024/12/17	東京	忘年会・懇親会
2024/12/20	広島	定例会・本質勉強会「AND の能力、徳のある社員を育てる」・忘年会
2024/12/27	福島	定例会・本質勉強会「AND の能力、徳のある社員を育てる」

※ 上記の他、各地域グループでは役員会・「在り方」「やり方」勉強会・懇親会等を定期的に開催しています。

7. その他の取り組みについてのご紹介

PICC「本質道場」

2024年度は「本質を追求し、ぶれない強い経営者となる」を最上位目的に掲げ、①強い経営者となる意識があり、実際に動ける会員による団結、②本質を学び、考えるための場・仕組みをつくる、③そのために最適な組織・会員制度・情報伝達手段への移行という3点を中心に取り組んでまいりました。

そのための活動の柱として、2024年4月から、PICC「本質道場」をスタートしています。従来の勉強会とは違い、「申し込み時にレポートを提出してもらい審査する」「毎回課題を提出する」「遅刻・早退・欠席は厳禁」等、厳しい条件が示されましたが、正会員から29名が選抜され、参加しています。入り口をあえて厳しくしたのは、講師を務める大久保秀夫会長が若い頃に体験した「真剣勝負の学びの場を再現したい」という思いがあったからです。



「本質道場」のベースとなっているのは、京セラの稲盛和夫氏、ソニーの盛田昭夫氏が若手経営者を集め、交替で教えていた塾での学びです。そこで学んだのは、経営のやり方ではありませんでした。「経営者とは?」「社員に対する真の愛情とは?」等、経営者として向き合うべき本質的なテーマについて本気で考え、自分自身の答えを見つけることを求められたそうです。お二人の偉大な経営者から教わったこと、気づかされたことを大久保会長自身が再現し、PICCを起点に社会へ、次世代へと広げ、「いい会社」を増やしていくことを目指します。

PICCでは創設以来、経営者や人としての正しい在り方を中心に学んできました。それを自社の経営で実践し、成功につなげることができている会員がいる一方、残念ながら学びを十分に生かすことができていない会員もいます。大久保会長がその差について考え、たどり着いた結論は、実践できていない人は「考え方」や「熱意」がまだまだ不足しているということです。

京セラ・稲盛和夫氏が唱えた人生方程式は、「人生・仕事の結果 = 考え方 × 熱意 × 能力」というものです。ただし、個人の能力は得意・不得意はあるものの、トータルでは大きな差はないはずで、ということは、なぜ差が生まれたかということ、経営者の「考え方」と「熱意」に差があるということになります。

では、なぜ「考え方」や「熱意」に差が生まれるのでしょうか。大久保会長は、経営者や人として在り方を真に腹落ちできていないからだと考えました。経営者の皆様は、「何のために、誰のために経営しているのか?」「何のために、誰のために生きて

いるのか?」、揺るぎない答えをお持ちでしょうか。「本質道場」では、こうした本質について深掘りするために本気で学び、考えるための機会を提供しています。本当に強い経営者となるため、公益資本主義を実践するため、このような場づくりがPICCにとって、また社会にとって必要であると考えました。

新しい学びの場づくりであり、試行錯誤の繰り返しでしたが、他では学ぶことができない貴重な学びの場として、参加した29名が熱心に参加し、誰ひとり欠けることなく第一期が修了しました。

【PICC「本質道場」の開催実績】

《第1回》2024年4月16日(火)	13-17時	「経営の心」
《第2回》2024年6月5日(水)	13-17時	「心を高める(前編)」
《第3回》2024年8月20日(火)	13-17時	「心を高める(後編)」
《第4回》2024年10月15日(火)	13-17時	「経営を伸ばす(前編)」
《第5回》2024年12月17日(火)	13-17時	「経営を伸ばす(後編)」
《第6回》2025年2月18日(火)	13-17時	「経営12カ条」

一年目は教わるのが中心でしたが、二年目は実践すること、さらにこの教え自体を広げていくことにチャレンジします。そのための師範と師範補が、2025年3月18日に開催された「本質道場」師範候補選考会で決定しました。



【「本質道場」師範候補選考会の登壇者と発表テーマ】

- | | |
|------------|----------------------------|
| 1. 飯田剛也さん | 「笑顔に始まり笑顔に終わる」 |
| 2. 坪井望さん | 「ANDの能力」 |
| 3. 中村誠さん | 「はだかの心を磨き、はだかの心で生きる」 |
| 4. 田中貴之さん | 「楽観的に構想し、悲観的に計画し、楽観的に実行する」 |
| 5. 奥村雄介さん | 「成功するまで諦めない」 |
| 6. 藤木寛人さん | 「自ら燃える」 |
| 7. 廣兼一昭さん | 「事業の目的、意義を明確にする」 |
| 8. 大塚雅之さん | 「一日一日をど真剣に生きる」 |
| 9. 古屋純平さん | 「時間とお金を大切に使う」 |
| 10. 谷川宏樹さん | 「勇気をもって事に当たる」 |

【「本質道場」師範候補選考会の結果を踏まえた新体制】

●三役師範

東日本統括師範 大塚雅之さん

西日本統括師範 飯田剛也さん

指導師範 廣兼一昭さん

●師範

師範 谷川宏樹さん

師範 古屋順平さん

●師範補

師範補 田中貴之さん

師範補 奥村雄介さん

師範補 藤木寛人さん

師範補 坪井望さん

師範補 中村誠さん

2年目は、上記の師範・師範補を中心に、道場生が一丸となって「本質道場」を次のステージへと昇華させるための活動に注力していく計画です。

2024年度 PICC全国大会 in 福岡

2024年は、PICCを立ち上げて10年が経過した節目の年となり、全国の組織変更や会員制度の見直しを行っています。新生PICCとして会員が団結し、同じ方向に向かって行くことができるよう、全国から会員が集い、PICCの在り方について再確認できる場として、10月16日に福岡で「全国大会」を開催しました。

PICC会員はもちろん、会員企業の社員、公益資本主義や王道経営に興味のある方85名に参加いただいております。

前半は大久保秀夫会長から、「なぜ、いま“本質”なのか？」と題し、「本質道場」を始めた経緯や目指していること、「本質道場」で教えてきたテーマのレビューについて講話をしていただきました。

「皆さんがやるべき一丁目一番地は、道場で求心性・遠心性を身に付け、誰が見ても立派な人間、立派な会社になること。そうすれば自ずと会員も増え、PICCの理想とする社会に変えていけるようになる！」と、会員に向けて力強いメッセージが送られました。



また、「本質道場」で実際に学ぶ会員から、道場の学びを通じて気づいたこと、変わったことについて共有され、参加していない会員から多くの注目を集めました。

後半は会員企業から、実践事例のプレゼンテーションが行われています。

ICT サービスを展開する株式会社 HAT 代表取締役・南 壽郎さんからは、PICC で学んだ在り方・やり方を生かし、事業の選択と集中を行い、売上を 10 倍以上に伸ばした実体験を披露していただきました。

環境保全にまつわる事業を展開する興亜商事株式会社の代表取締役・奥村雄介さんからは、10 年前から挑戦しているカンボジアへの海外進出、また一緒に働く人たちを大切にするための実践事例をご紹介します。

日本全国で美容室を展開する株式会社ラポールヘア・グループ代表取締役・早瀬涉さんからは、2011 年に起きた東日本大震災をきっかけに被災地域における創業を決意し、美容業界の課題に切り込む挑戦について熱く語っていただきました。

最後は人材教育サービスを中心に展開する株式会社 Campanula 代表取締役・権堂千栄実さんから、PICC 会員企業向けに全国横断で実施している「若手社員向け合同勉強会」「No.2 育成研修会」の実施報告をしてくださいました。

全国大会終了後は、同じ会場で懇親会を開催しております。全国から会員が集まりましたので、会員同士がリアルで交流し、歓談できる貴重な機会となりました。

引き続き「本質」を追求し、強い経営者集団となることを目指し、道場で切磋琢磨していくことを誓いました。



マイコミュニティフォーラム



2016年12月から始めた「マイコミュニティフォーラム」もPICC全国地域グループの取り組みとして継続開催しています。代表世話人としてNEWS ZEROのメインキャスターを務めた村尾信尚氏に、また田中副会長を中心にPICC役員にもご協力いただきながら、日本各地で若者に気付きを与えるためのフォーラムを開催してまいりました。

2024年12月までに全国7都市で29回開催し、これまで合計で5,272名の方に参加いただいております。

マイコミュニティフォーラムの目的は、若者の地域に対する意識のスイッチを“オフ”から“オン”にすること。自分たちの力で「国や未来は変えることができるんだ」ということに気付いてもらうため、まずは自分が住んでいる地域でどんな取り組みが行われているか、目を向けてもらい、私の社会のために何かできること、参加してみたいと思えることを見つけてもらうためのヒントを提供したい、そんな思いで企画・運営しております。

各地域のPICC会員が中心となり、近隣の学校、学生、経営者、NPO、企業、議員等と協力しながら、様々なテーマ・プログラムを提供してまいりました。

はじめに村尾信尚氏から『私の社会をつくるための2つの券』をテーマに、「私たちは社会を変える2つの券、投票券と日本銀行券を持っている」ということを平易に解説。その後は参加する若者のニーズに合わせてパネルディスカッションや講演等が行われるのが、スタート当初のフォーマットでした。近年は、一方的に聞くだけではなく、聴衆も一緒に参加できるワークショップ型の取り組みが採用されたり、学生が自らの活動を発表するプレゼンテーション大会が行われたり、回を重ねるごとに各地域で趣向を凝らしたフォーラムへと進化を遂げてきました。

【2024年の開催実績】

① 第28回マイコミュニティフォーラム in 福島

2024年10月13日(日) 11:00~17:00

場所：なかまち夢通り

テーマ：ぼくらの音楽祭 in なかまち夢通り ~スタンドアップ! もっとピュアになろう!~

参加者：400名



② 第29回マイコミュニティフォーラム in 愛知

2024年11月17日(日) 13:00~18:00

場所：東別院会館ホール3F

テーマ：東海学生 AWARD 2024 ~道なき道を拓く覚悟を。~

参加者：330人



U25会員／準会員について

U25 会員は、25 歳未満の若者が PICC の活動に参加できるよう、設けられた会員制度です。各地で年 1 回開催するマイコミュニティフォーラムだけではその場限りの気付きで終わってしまうため、PICC の活動に参加してもらいながら継続フォローできるように 2018 年から設けました。

PICC が U25 育成に取り組む理由は、これから地球の未来を担う若者に「公益資本主義」を伝え、継承してもらうためです。

PICC 会員企業は、公益資本主義を学び、それを自社で実践し、社会に広げていくことを使命としています。その対象は、一番はまだ公益資本主義を知らない、実践できていない経営者ですが、本当の意味で公益資本主義を広げるには、企業を選ぶ側、自身が働く企業を選定する学生、商品・サービスを選ぶ顧客にもこの考え方を知ってもらい、公益資本主義的視点で企業を選別してもらう次世代の層を厚くしていくことが、将来的にみても重要であると考えています。

若者に PICC 活動に参加してもらうことで、これから社会に出ていく前に知っておくべき、気付いておくべき考え方や視座を提供し、社会で自信をもって活躍できる人材を輩出することを目指しています。

コロナ禍以降、残念ながらマイコミュニティフォーラムの開催が減少しており、U25 会員の新規申し込みが減少している中、コロナ禍以前に入会した U25 会員が誕生日を迎え、卒業しており、U25 会員の数も減少傾向にあります。

ただ、社会人となり、それぞれの道を歩み始める一方、「継続して PICC で学びたい」「共に活動したい」という声もあり、これに應えるため、2023 年から U25 会員卒業者が移行できる「準会員」を新たに設けました。これまで 6 名が準会員へと移行し、継続して活動に参加してくれています。

U25・若者向けの活動

2024/2/22	福岡	福岡支部海外研修（バンコク）
2024/7/26	福島	地域活性化委員会 「ぼくらの音楽祭」懇親 BBQ
2024/8/31	福岡	U25 同窓会
2024/9/22	愛知	東海学生 AWARD 合宿
2024/10/11	愛知	東海学生 AWARD ブラッシュアップ会
2024/10/13	福島	ぼくらの音楽祭
2024/10/25	福島	みんなの定例会 「なぜ働かなければいけないのか、その本質について考えてみましょう」 (ファシリテーター：株式会社せいふうケア 代表取締役 太田大 氏)
2024/11/6	愛知	東海学生 AWARD ブラッシュアップ会
2024/11/17	愛知	東海学生 AWARD
2024/12/15	愛知	東海学生アフターAWARD
2024/12/22	愛知	東海学生 AWARD 納会

※前述の活動報告と重複あり

8. 2025年度のテーマ

2024年度は、「本質道場」という新しい学びの場づくりに会員の思いも、時間も集約して活動してまいりました。また、そのために組織や会員制度も改めるなど、新しいPICCに生まれ変わろうとしています。師範候補選考会で選抜された「本質道場」師範を中心に、この価値ある学びの場を、まずはPICC内部に、将来的には外部に向けても広げていくことができるよう取り組んでいく計画です。

2025年 PICCテーマ

「本質を追求し、ぶれない強い経営者となる」

2025年度の最上位目的も継続して、「本質を追求し、ぶれない強い経営者となる」とし、以下3点を重点課題として取り組んでまいります。

- ① 「本質道場」参加者の熱をPICC全体に広げていく
- ② 師範を中心に、「本質道場」を広げるための場・仕組みづくり
- ③ そのために最適な組織・会員制度・情報伝達手段への移行

PICC 2024年度活動報告書

2025年3月31日 発行

著者 一般社団法人公益資本主義推進協議会

発行元 一般社団法人公益資本主義推進協議会 組織運営本部事務局

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前5-52-2 青山オーバルビル14階

電話 03-6826-1234

本書の内容の一部または全部を無断複写、複製、転載することを禁じます。